

対象クラス	2年 生活文化科	単位数	2
使用教科書	子どもの発達と保育 新訂版 (実教出版)		
使用副教材	なし		

「子どもと発達と保育」はこんな科目です。

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を学びます。子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身に付けます。

科目の到達目標（目標とする検定等）

- ・子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を身に付け、体験的・主体的な学習活動を実践の場で活用することのできる能力を身に付けていくことを目指しています。
- ・子どもの発達や子育てに感心を持ち、関わろうとする意欲や実際に関わることができる実践的な能力を身に付けていくことを目指しています。
- ・全国高等学校技術検定保育4級（造形表現技術）程度の造形表現技術を身に付けることを目指しています。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	・子どもの生活に関心があり、積極的に授業や実習に取り組んでいく姿勢が見られるか。	授業態度、提出物の提出状況 発展学習の取組状況
思考・判断・表現	・子どもの発達段階を踏まえた心身の発育や発達を考えることができるか。	定期考査、製作物
技能	・子どもの生活援助や実技・実習等の技術が身に付いているか。 ・全国高等学校家庭科技術検定保育4級(造形表現技術)程度の造形表現技術が身に付いているか。	製作物 実習・実技への取組状況
知識・理解	・子どもの発達の特徴や生活と保育などに関する知識と技術が子どもの健全な育成のために大切であることを、総合的に理解できているか。	定期考査

学習計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのか）

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第1章 子どもの発達の特性	・「保育」とは・・・ 1 発達と乳幼児期の意義 2 発達と保育環境 3 児童観と発達観	・「保育」を学ぶ目的を知り、学習の目標をもつ。 ・乳幼児期が人間の発達の基礎となる時期であることを理解する。
	第2章 子どもの発達過程  【前期中間考査】	1 子どもの発育 2 子どもの精神発達 3 人間関係の発達	・子どもの発達をとらえるための重要な側面を知り、発達には順序性や連続性があることを理解する。
前期期末	第3章 子どもの生活  【前期期末考査】	1 生活と養護 2 子どもの遊び 3 生活習慣の形成 4 健康管理と事故防止  【保育実習】	・乳幼児の発育・発達を促すための望ましい生活について理解する。 ・基本的な生活習慣と社会的な生活習慣を形成することの重要性を理解する。 ・保育園訪問を通して、幼児を観察し、その特徴を理解して子どもの行動に興味をもつ。
後期中間	第4章 子どもの保育  【後期中間考査】	1 保育の意義と重要性 2 家庭保育と集団保育 3 保育の方法	・子どもの発達を促すための保育の必要性と意義を理解し、基本的な保育技術を身に付ける。 ・乳幼児の発育・発達に応じた適切な保育の重要性を理解する。
後期期末	第5章 子どもの福祉  【学年末考査】	1 子どもの福祉 2 子育て支援  まとめ	・子どもの福祉と社会とのかかわりを理解することができる。 ・学習の反省と将来への目標をもつ。